

ハイサイ！

「歯〜がんじゅう便り vol.23」をお届けいたします。

今日のテーマは「歯を失ってしまった場合の治療法 その2 ～部分入れ歯編～」です。

歯のない部分に、部分的な入れ歯を入れる治療法です。

### メリット

- 両側の歯を削る必要がない
- 出来上がりまでの時間が比較的短い
- 取り外しができるので、歯みがきや入れ歯の清掃がしやすい

### デメリット

- 入れ歯と粘膜の間に食物が挟まりやすい（挟まると痛い）
- クラスプ（バネ）で固定するため、食事中に外れることがある
- クラスプの維持力を強くするとクラスプをかけている歯に負担がかかる
- 入れ歯と粘膜をフィットさせるために何度も調整が必要

かかりつけ歯科医と相談して治療方法を決めましょう。

※バックナンバーはこちらから↓↓

<https://www.city.naha.okinawa.jp/nahahokenjyo/kenkoudukuri/tooth/haganijuu.html>

## 歯を失ってしまった場合の治療法②



①

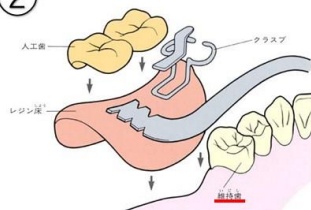


例) 片方だけの義歯

歯のない部分に部分入れ歯を装着した状態

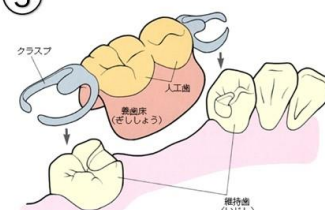
## 歯を失ってしまった場合の治療法②

②



奥歯がない場合は手前の維持歯にクラスプ（バネ）をかける、奥は粘膜で支えるが、粘膜は沈み込むため、安定性に欠ける

③



歯のない部分の両側の歯にクラスプをかけて支える。バネが強すぎるとクラスプをかけた維持歯に負担がかかる

